

# 東朋会ミニ通信



鏡湖池に写った「逆さ金閣」(京都府)

## 【会員情報】

会員 436名(11/17)

新入会

山本 郁雄(11/4)

武内 勉(11/4)

菅野 誠(11/10)

傘寿

鈴木 教之(10/5)

原 幹夫(10/18)

増 早苗(10/29)

発行者 香川 修司

連絡先 事務局 島津 晃

0467-73-0515

小倉進・三井所信夫

編集者 島津 晃

## 第87東朋会理事会報告

11月17日(木)

### 議事

- (1) 新年度顧問委嘱の件  
大西顧問、村岡顧問、加藤顧問の方に顧問委嘱の件は、承認された。
- (2) 新年度の年間計画と各委員の日程計画。  
ミニ通信11月号の発行と計画。
- (3) 湘南クラブハウス、年末大掃除の計画。
- (4) 日程案(12/8)(木)
- (5) 一月度理事会と地域OB役員交流会。  
日程案(1/12)(木)
- (6) 専務理事、交通費支給の件。
- (7) 新債券購入と資金運用。

### 報告事項

- (1) 第8回総会懇親会報告。
- (2) 第13回 芸趣百選展の実施報告。
- (3) 8月～10月度会計報告。
- (4) 資金運用状況(10月度)
- (5) 地域OB会の報告

### ☆湘南OB会

バーベキュー

9月24日(土) 14:00～

湘南クラブハウス

55名参加

### ☆福東OB会

日立一泊旅行

10/23(日)～24(月)

参加23名

- (6) クラブハウス日常運用の検討。

### ★「ホーライフ」

☆慶弔見舞金制度、16年11～12月対象者確認。

☆全労済15年度活動手数料の確認。

☆自然火災共済加入活動計画。

全労済マイル共済(建物構造区分の確認方法等全労済担当者から説明があった。

### 事務局からのお知らせ

会員の皆様への、連絡をスムーズに行うため、メールの活用を計画しております。ご同意いただける会員の方は、東朋会事務局のアドレスにメールをお願いします。

tohokajim@yahoo.co.jp

### 計報

山口 満 80歳

(11/8 没)

## 季節雑感

## 師走の風、寒さを乗り越えて！

理事長 香川 修 司

紅葉の盛りから、急に真冬の寒波が襲来して、今年も、もう師走を迎えました。

社会のニュースでは色々ありますが、トランプショックと高齢者の車の事故の多発が気になります。そして5年後に再び東北に地震と津波が起きたことです。

予想を覆すトランプ大統領の登場は今年のイギリスの EU 離脱と同じ流れだと分析されています。世界的なグローバル経済の進展は比較的好調に見える先進国でも生活格差を拡大させ、貧困が進行する庶民の怒りが既成の政党や政治家への政治不信を生み、その結果が排他的な感情につながっていると いえます。日本だって、昨年、非正規労働者が40%を超えた事、生活保護者が高齢者を中心に216万人、日本では6人に1人が貧困層となり、私達自身、格差社会の進行がそばまでやってきていると感じます。

高齢者の運転事故は超高齢時代の到来を映しています。先日、車検の見積もりでディーラーに行きましたら、新発売の車がよく売れていて、予約待ちになっているとの話がありました。その車には衝突防止装置やアクセル・ブレーキ踏み間違い防止装置がついているとのこと。高齢者が活発な社会生活を営むことは喜ばしいことですが、体力機能の衰えや、認知症の防止・対応に取り組む必要があります。東朋会の課題でもあります。

今回の地震と津波では、幸い、大きな被害を受けませんでした。やはり予知が出来なかった事、宮城県の津波警報が遅れた事、夜も明けぬ早朝に起こった事等、課題も残しました。東朋会防災ファイルでも検討したいと考えます。

東朋会の新年度事業も、10月の総会・懇親会、11月に入ってから芸趣百選展、と楽しむことができました。これから12～1月には自然火災共済の募集、役員交流会、3月には古希の集い、高齢者の防災ファイル、生活実態調査、5月には芸能大会と寒さを乗り越え、協力し、展開します。

専務理事退任挨拶

加藤光義



長い間クラブハウスの管理、東朋会の専務理事として務めてこられたのも会員と役員の皆様のご指導ご協力があつたことと改めて感謝しております。本当に有難うございました。

長い間には、色々な事がありました。

私が最初にクラブハウスに勤めたのは、1999年10月に地域生活センターと飛石町議事務所の管理をして欲しいとの話でした。

それから2003年2月に会社がクラブハウスを売却することになり、組合が入札取得したクラブハウスの管理と、OB会、東朋会の事務管理業務が移管されました。

それから、2007年12月に会社が3社に分割されて、組合も別れて3労組連絡会が発足しました、それに東朋会も加えてもらいました。

組合分割に伴って組合資産の分配の話となりました、東朋会にも資産を分けてくれるよう要求しました。

2008年3月頃より話し合い

に入りましたが、組合側は会社を辞めたOBが、何で資産を要求するのか、権利はないと当初は話になりませんでした。

それを現香川理事長と、元東朋会会長の内氏で説得、交渉にあたりました。

今、40代の皆さんもいづれOBになるときが来るでしょう、その時東洋通信機で残っているのは東朋会とクラブハウスだけとなります。

東朋会には皆さんが80代になる迄、資産の維持管理をしていく方針で運営していくので、資産を東朋会に出捐して欲しいと説得しました。

交渉は、2008年3月頃から2009年7月頃迄かかり、約4億の資産クラブハウスを含むの出損が決まりました。

受け入れ体制として法人組織が必要となり、わずかな期間(9月7日迄)に設立が必要で一般財団法人 東朋会が設立されました。

今迄、会社で管理してきたクラブハウスと敷地の管理を、旧寒川OB会の皆さんや、東朋会役員との協力を得て管理して来ましたが、皆様ののご指導、ご協力有難う御座いました。

健康の話

(生活習慣病との関係) 荒井副理事長

食へ過ぎや飲みすぎ、運動不足、喫煙等、良いとはいえない生活習慣からおこる病気を、生活習慣病と言います。

糖尿病・高血圧・脳卒中・肥満等がこれに当てはまり、日本人の死亡原因の2/3は生活習慣病によるものです。高齢者の生活習慣病は増え続けており、認知症と大きく関連しています。

認知症の原因の6割を占めるアルツハイマー型認知症の発症に、生活を取り巻く環境の影響が、大きく関わっていることが分かってきました。

脳の状態を良好に保つためには、食習慣や運動習慣を変えること。認知機能を重点的に使うためには、対人接触を行うことや、知的行動習慣を意識した日々を過ごす事が重要です。

一 食習慣

野菜・果実(ビタミンC・βカロチン)を良く食べる。

魚DHA・EPAを良く食べる。

二 運動習慣  
週3日以上有酸素運動をする。  
三 対人接触  
人と良くお付き合いをする。

四 知的行動習慣

文章を書く・読む、ゲームをする。博物館等に行く。

五 睡眠習慣

二十分未満の昼寝 起床後2時間以内に太陽光に当たる。

・生活習慣病を治療する。

生活習慣病を疑われていても、治療せず放置する人が多い。

治療も受けず、生活習慣も改善しなければ、良くなるはずがありません。自分が将来癌等になるかもしれないと考える人は多いのですが、認知症になるかもしれないと思う人は意外に少ないものです。自分だけは大丈夫という思いだけでは、予防することなど出来ません。生活習慣病にならないよう、生活を見直し、もし病気になったとしても、きっちり治療することが認知症の予防に繋がります。

年金の話

久玉副理事長

公的年金の受給に必要な加入期間を25年から10年に短くする法案が先日国会で承認されました。それとは別に、2021年度からの実施を目指す年金制度改革法案が国会で審議されています。関連の2つの新聞記事を(5)面にてご紹介いたします。

高齢者と車社会

「高齢者と車のジレンマ」

◆高齢者の交通事故が増えている。高速道路での逆走や、アクセルとブレーキを踏み間違えての事故など、高齢者による死者が出てもおかしくない運転ミスが後を絶ちません。◆車社会である田舎は、

当然、高齢者の免許所持率が高く公共交通機関の頻度が都会に比べて少ない。必然的に自分で車を動かす必要があります。◆日本のモータリゼーションの発達は、自動車優先主義が根幹にあり歩行者、自転車、公共交通機関、そして自動車は、交通参加者として対等であるという考え方を交通政策の根幹に据える必要があります。◆欧州の地方都市の場合、一定の公共交通機関が整備されているため、運転を断念しても、高齢者にとって、その後の生活にあまり不便が生じないようです。この点は、日本の地方都市との大きな違いです。◆欧州では走る凶器にもなる自動車を操る全ドライバーに対して、厳しい条件が課されているようです。決して、一定年齢以上の高齢者だけがターゲットにされることはありません。そうした政策の積み重ねが、高齢ドライバーの免許の自主返納へとつながる結果になると考えられます。